

第794号
 2018.6.20(水)

総聯福島県本部第24回大会・支部合同定期大会

19日(火)に先日東京で行われた総聯第24回全体大会で提起された決定を遂行するための福島県本部大会が、総聯の本部、各支部、団体の代表参加の下本部会館で行われました。

大会では23回大会が行われた2014年から4年間にわたって繰り広げられてきた活動を総括し、これからの課題が定期されました。

特に報告ではかつてない新たな転機が広がる歴史的時代の要求に沿って、総聯組織をより一層強化して在日朝鮮人運動の新たな全盛期を早めるための運動を加速化していかなければならないと力強く呼びかけました。

大会では総括期間の活動について総聯浜通支部、青商会、ニョメン本部、総聯中通支部の代表が誇らしく討論しました。また財政決算・予算案審議報告、役員選出小委員会報告も採択されました。

今後行われる同胞たちの集会などで新しい役員が紹介されます。

大会終了後は「板門店宣言と朝米共同声明を支持・歓迎する集い」が和気あいあいとした雰囲気の中行われました。

ニョメン本部定期大会のお知らせ

ニョメン本部第30回大会・支部合同定期大会が行われます。

4年間のニョメン活動を総括し、新たな運動へと飛躍する契機にします。

大会終了後は祝賀宴(ランチ会)を行い、参加者全員にすてきな記念品がプレゼントされます。ニョメンの方は皆さん参加して下さいね！

2018年7月9日(月) 午前11時集合
 11:30開始 13:30解散予定

場所:本部会館 3階

内容:1部 定期大会 2部 祝賀宴

参加費:500円(食事代)

*準備の都合があるので6月29日までに参加の有無をお知らせください。

新たな朝米関係

史上初の朝米首脳会談における合意は「金正恩委員長とドナルド・トランプ大統領の間のシンガポール首脳会談共同声明」として発表された。国名ではなく両首脳の名前が冠された。▼第二次大戦後、世界で最も長きにわたり鋭く対立してきた朝米の敵対関係に終止符を打つことを両首脳が決断したことでこれまで誰も成し得なかった会談が実現した。共同声明は両首脳が互いの揺るぎない意志を確認し、それを実行に移すためのものだ。第一項には「平和と繁栄を願う両国民の念願に基づいて新たな朝米関係を樹立していくことにした」とある。▼まずは国家のリーダーが古い慣行から脱却し果敢に行動することから始まる。トランプ大統領は多くの障害を乗り越えなければならないだろう。米国内には朝鮮敵視の継続を主張し軍事的緊張が続くことを望む巨大な勢力が存在する。変革を一気に進めれば逆風が強まる。米国の誤った政策を転換し朝鮮と新たな関係を築くには物事を段階別、同時行動の原則に従い進めるしかない。首脳同士の約束である共同声明に則り大統領が関係改善のための措置を講じれば委員長も相応する措置をとる。「非核化に向けた北朝鮮の変化」をアピールすれば国内の反対派を抑え込むことができる。▼最初の会談で両首脳は出発点に立った。委員長を信頼し、共同歩調をとることが米国大統領にとっての成功につながる。朝米の新たな歴史の扉は確かに開かれた。(朝鮮新報 6月20日号「春夏秋冬」より)

20	21	22	23	24	25	26
水	木	金	土	日	月	火
	セツピョル学園					